

Corporate Social Responsibility

ユニバーサルサービスの提供

◆ユニバーサルサービスを提供し続けるためにあらゆる地域であらゆる人々が、同じ通信サービスを受けられるようにすること、それが通信サービスの使命です。

NTT西日本グループは、「通信サービスとは、人と人、人と社会をつなぐためになくてはならないもの」と考えています。そして、日本全国どこでも同じサービスを受けられるという、通信のユニバーサルサービスを維持することは通信事業者の重要な使命だと認識しています。

NTT西日本グループでは、快適な人々の暮らしを支えるために欠かすことができない安心・安全・信頼の通信サービスをご利用いただくため、NTTグループ各社が連携し、山間部や離島など地域間の格差無く、24時間、365日、万全の仕組みや体制の構築を目指して、日々努力しています。

絶え間ないサービス提供に向けた体制・取り組み

・お客様故障受付

故障受付は専門の技術者がわかりやすく電話応対いたします。

・監視体制

NTTグループ各社連携し、24時間、365日、万全の体制で監視しています。

・故障修理体制

全国の保守センタから、お客様のもとに駆け付けます。

・110番 119番の接続試験

いざというときに、確実におつなぎするため、毎日、接続試験をしています。



「通信サービスの使命」について、以下のホームページをご覧ください。
ホームページ <http://www.ntt-west.co.jp/universal/>

活動トピックス

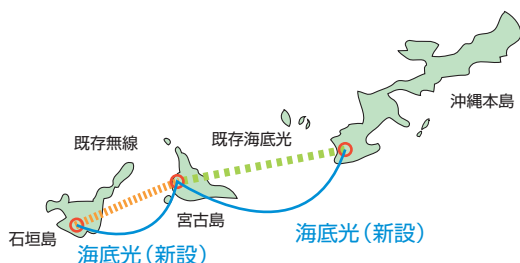
離島を守る通信ネットワーク

大小さまざまな島々で形成される日本列島には、人の住む有人離島が421島あり、そのうちの8割強が西日本エリアにあります。NTT西日本では、これまでもこれらの島と島、島と本土の間の通信サービスを提供するため、約4,500kmにも及ぶ海底ケーブルを敷設し、日常の点検から故障修理にいたる保守業務までを一貫して行なっています。

海底ケーブルを敷設するには、通常より多くのコストがかかり、NTT西日本の経営に与える影響は小さくありません。しかし、本土と離島との間のデジタルディバイド（情報格差）解消は、光ブロードバンドが進化した現在、新たなビジネスの創出や暮らしの変化、教育現場のIT化の促進など、地域社会においてさまざまな効果をもたらします。NTT西日本では、ブロードバンドによる便利なサービスを、離島であっても本土と同じように快適に利用できる通信環境の実現に向けて、全国いたるところへ通信サービスを提供することはもちろん、陸上ケーブルと同じように光ファイバー化を促進しています。

2004年度には沖縄本島～宮古島～石垣島への総延長約460kmの海底光ケーブル敷設工事を実施しました。従来、沖縄本島～宮古島は旧方式の海底光ケーブルを使用しており、宮古島～石垣島は無線方式であるため、ブロードバンドサービスには対応できませんでしたが、今回の工事により、宮古島・石垣島においても、今後ますます拡大していくブロードバンド需要に迅速に対応できることとなりました。

「たとえ人口の少ない離島であっても、生活をする上で不可欠なサービスをだれでも公平に利用できるようにする」ことは、NTT西日本に今も受け継がれる遺伝子です。



海底ケーブルの敷設作業



敷設された海底ケーブル